

愛西市巡回バス運行検討委員会 会議録（概要）

会 議 名	平成 30 年度 第 2 回 愛西市巡回バス運行検討委員会
開 催 日 時	平成 30 年 11 月 1 日（木）午後 2 時 00 分から午後 4 時 10 分まで
開 催 場 所	愛西市役所北館 2 階 会議室 2-1、2-2
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	中野 義光
協 議 事 項 等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 立田ルート・八開ルートについて 2. 佐屋ルートの要望について 3. その他
公開／非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍 聴 人 の 数	1 人
会 議 資 料	<p>次第 平成 30 年 9 月における愛西市の小字人口分布図 平成 30 年 9 月における愛西市の小字人口分布図（65 歳以上） 改正前のバス停（位置図） 立田ルート改正案 佐屋ルートの要望</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 巡回バス停留所・ルート別集計表（平成 29 年度） 2. 巡回バス区間別利用者数（平成 29 年度） 3. 巡回バス運行便別集計表（平成 29 年度） 4. 巡回バス月別・曜日別集計表（平成 29 年度）
審 議 経 過	別紙のとおり

愛西市巡回バス運行検討委員会委員

役 職	氏 名	区 分	備 考
委 員 長	伊豆原 浩二	知識経験を有する者	大学教授
副委員長	伊藤 正憲	地域の実情に精通した者	佐屋地区
委 員	橋本 清吉	高齢者	佐屋地区
〃	水野 壽里	知識経験を有する者	佐屋地区
〃	横井 正男	公募委員	佐屋地区
〃	水谷 怜	地域の実情に精通した者	立田地区
〃	伊藤 典之	高齢者	立田地区
〃	渡邊 千鶴子	知識経験を有する者	立田地区
〃	永井 初子	公募委員	立田地区
〃	岡本 千代子	女性	八開地区
〃	服部 愛子	知識経験を有する者	八開地区
〃	福田 道雄	公募委員	八開地区
〃	鬼頭 昭子	公募委員	八開地区
〃	伊藤 本章	地域の実情に精通した者	佐織地区
〃	石河 和子	女性	佐織地区
〃	梨本 嵩巳	知識経験を有する者	佐織地区

事務局

氏 名	氏 名
鷲 尾 和 彦	青 木 万 亀 雄
丹 羽 弘 秋	伊 藤 靖 幸

審議経過

発言者	内容（概要）
事務局	<p>本日は、公私ともに何かとお忙しいところ、お出掛け頂きありがとうございます。</p> <p>それでは、ご案内の時刻になりましたので、ただ今から、平成30年度 第2回 愛西市巡回バス運行検討委員会を始めさせていただきます。</p> <p>それでは、委員長からご挨拶をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。</p>
委員長	<p>今バス業界は運転手の高齢化で人手不足となっています。20代30代で2種の免許を持っている方が非常に少なく、業者はとても困っているようです。最近では自動運転の技術についても研究が進んでいるようだが、事故が起きたときにはどうするのか、ドライバーがいない状況でのセキュリティ面など、みなさんにはそういった動向も気にしていただき、この愛西市巡回バス運行検討委員会に役立てていただければと思ひます。</p>
委員長	<p>それでは、附議事項に入る前に委員から資料提供がありました、巡回バス停留所・ルート別集計表についての説明があります。よろしくお願ひします。</p>
委員	<p>事務局から平成29年度のデータをいただき作成しましたので、みなさんで愛西市巡回バスの現状を共有することで見直しの材料としていただければと思ひます。</p> <p>(1.巡回バス停留所・ルート別集計表（平成29年度）、2.巡回バス区間別利用者数（平成29年度）、3.巡回バス運行便別集計表（平成29年度）、4.巡回バス月別・曜日別集計表（平成29年度）について、それぞれの特徴を説明。)</p>
委員長	<p>どうもありがとうございました。何かご質問がありましたらどうぞ。</p>
委員	<p>いつもより利用者が多い日があるが、それはイベントなどの特殊な要因があったのかわかりますか。</p>
委員	<p>詳細なことまではわかりませんが、ルートによっては調査により団体が利用されていたことがわかりました。</p>
委員長	<p>便ごとの集計というものも非常に大切ですが、平均ではありますけれども特殊な日を除けば1便あたりの利用者数は多くても10人程度なので、バスの大きさもその程度いいのではとなる可能性もあります。</p>
委員	<p>今回の集計をしてみてわかったことですが、バス停によって1週間に1回程度しか利用していないところもあり、今回はバス停を減らすことができないかもしれないが、今後の方向性として廃止にする基準を設けておく必要が</p>

委員長	<p>あるのではないかと感じました。</p> <p>大変いい資料を作成していただきましたので、これをみなさんと共有しながら今回の議題に入っていきたいと思います。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いします。</p> <p>1. 立田・八開ルートについて</p>
事務局	<p>(人口分布図の見方と立田ルートの改正案について作成の経緯と概要を説明)</p>
委員長	<p>ただいま事務局から説明がありましたが、何かご意見・ご質問がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>立田ルートについては南北に走っているが、生活圏としては佐屋地区に向いているので、東西に運行できると利用しやすくなると思う。</p>
委員	<p>これまで自家用車を利用していた人が、高齢化により利用できなくなったときにバス停が近くにないと困るので、これ以上停留所を減らすことはしないほうがよい。</p>
委員長	<p>車に乗っているときは、バス停がどこにあるとか、バスがどのように運行しているかなど、バス自体に関心がない。だから、車が乗れなくなってからバスを利用するのではなくて、車に乗れるうちからバスを利用してみて、どのようにしたら利用しやすいのか意見をもらえるとよいと思う。</p>
委員	<p>現状のルートでバスの運行が無い地域の人に対しても、今後は考えていかないといけないと思う。</p>
委員長	<p>バスの仕組みとして固定のルートでいくのかということも問題の一つで、全国では今、ボランティア輸送などの話も出てきているので、そのような仕組みが進んでいけば、現在バスが走らない地域の人たちのためになるはずですが、今回の愛西市巡回バスにおいては定時定路線で検討していくこととし、そこでカバーできない部分については、今後何か別の方法を考えていかないといけない。</p>
委員	<p>他の地区では定時路線バスの利用が少なかったため、予約制の相乗りバスと福祉バスに切り替えたところ好評であると聞いている。愛西市でも交通空白地帯については、検討委員会の中で定時路線とは別の方法で考えていかないといけないと思う。</p>

委員長	<p>今の段階ではそこまで進めることは難しいが、課題としては認識しておかなければいけない。</p> <p>今回は立田地区の委員さんが、バスに乗ってルートを検証していただいたのでそれについてはどうでしょうか。</p>
委員	<p>立田ルートは南北に運行しているが、東西に運行しないと意味がない。そのようにしないといくら改善しても乗車数は伸びないと思う。合併してから10年も経つのに、いつまでも地区で区切っているのは良い改善は望めない。</p>
委員長	<p>立田ルートの現在の改正案を8の字で運行することも可能なようだが、そうするとバス停の数や便数を増やすことが難しいかもしれない。</p>
委員	<p>今の愛西市の巡回バスは地域に縛られた運行で続いている。民間がやっているようなワンウェイ方式にすれば、今よりはスムーズに回れると思う。将来的には根本的に愛西市全体のバスとして考えていかないといけない。</p>
委員長	<p>利用があるうちはどうしても現在のルートを大幅に変更するのはなかなか難しい。今回の資料を見ると人口密度の高い場所にはバス停が設置されており、よく考えてルートが作られているのがわかります。全体の改善については課題としては残しておいて、今の段階では立田ルートを8の字型で運行してみてどのくらいの利用があるのか調査していくということはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>それでは、次回までに実際に立田ルートを8の字型で運行したらどのくらい時間がかかるのか検証し、資料として提供させていただきます。</p>
委員	<p>今の立田ルートと八開ルートの乗り継ぎができるバス停は便利なので、継続してほしい。</p>
事務局	<p>今あるバス停とルートで8の字に回ったら、どのくらい時間がかかるのかを検証する予定です。</p>
委員長	<p>では、八開ルートも含めてそのようなことでお願いしたいと思います。</p> <p>それでは次に、「佐屋ルートの要望について」に移ります。事務局から説明をお願いします。</p> <p>2. 佐屋ルートの要望について</p>
事務局	<p>(事務局から佐屋ルートについて、これまであった要望について説明)</p>
委員長	<p>ただいま事務局から説明がありましたが、何かご意見・お気づきの点があ</p>

	りましたらお願いします。
委員	(54番)甘村井のバス停から(31番)親水公園のバス停までは、そこまで長い距離ではなく歩いていくことも可能だと思う。
委員	要望がきている以上、何か改善しなければならないのか。
事務局	あくまで要望として受ただけのものであるので、受けたからといって改善するような約束はしていません。
委員	どこから出た要望なのか。
事務局	甘村井地区については地元の総代を通じて出た要望で、佐屋東ルートについては、永和地区の方々から出たものとなっています。
委員	これまでの会議の中で利用者の要望を取るために、どのような方法で意見を集約するかということを議論してきた。その中で委員や関係者が一度バスに乗って、利用者の意見を聞こうということになったはずである。それなのに今回突然、佐屋ルートに関する要望が出されてしまった。地域のいろいろな要望は他の委員も聞いていると思う。せっかく議論の中でアンケートを取るようなことが確認されたはずなので、それをぜひ実施して欲しい。このようなかたちで立田ルートとか佐屋ルートが決まってくるとアンケートがいらなくなってしまう。海南病院ルートについても、前回に佐織庁舎と津島市民病院を経由する改正案を提示したはずだが、それについても回答をいただいている。事務局にはこれまでの会議で出た結論を含めて、もう少し説明をしていただき進め方を考えてほしい。
委員長	今のご提案について、何かご意見等ございますか。
委員	意見や要望を聞いて判断していければ、それは良いことである。アンケートをとることは多くの意見が聞けるので良いと思う。 愛西市には津島駅が生活圏の人も多いので、将来的にはそちらへ行けるようになってほしいし、そういうことも含めて多くの意見を聞くということは大切である。
委員	わたしは事務局がアンケートや乗降調査を行わず、ルート見直しの個別の要望についてのみ委員会の中で検討することで終わらせてしまうのではないかとこのことを心配していた。それではいけないと感じたので、過去2回の会議の中でアンケートを具体的にどのように進めていくのか議論してきたと思っている。 当然、アンケートを取ればいろいろな意見がたくさん出てくると思うが、

	<p>出来ることと出来ないことがあることは承知の上で、アンケートはやらなければいけないと思う。</p>
委員	<p>自分の知り合いに三重県玉城町の人がいるが、以前は巡回バスで運行していたものが、デマンドに切り替えたことでおおむね順調だということを聞いている。佐屋・佐織地区については合わないと思うが、立田・八開地区についてはデマンド方式でも良いと思うので一度検討するのもいいと思う。</p>
委員長	<p>少し整理していくと、今回のテーマが佐屋ルートの要望となっているが、気になるのは要望をどのように聞いていくのか。他の地区でも意見がある人がいると思うので、今回は町内会などの組織を通しての要望だとは思いますが、全体的に問いかけないと要望があったところだけ対応していくのは良くないので、巡回バスについての要望は、ある程度ルールづくりをしておかないといけない。</p> <p>今回の要望について、なんらかの回答をしなければいけないのか。</p>
事務局	<p>今回の要望について回答をするということになっていません。前回の会議の中で佐屋・佐織地区については大幅な変更はせず、アンケートも実施しないことになりましたが、微調整は行うということでしたので、現在出ている要望を議題として挙げさせていただきました。</p>
委員長	<p>愛西市として何か要望をしたい場合、どのような方法で行っているのですか。</p>
事務局	<p>一般的には地域の総代を通じて出てきますが、個人の方でもふれあい箱に意見書を提出することが出来ます。</p>
委員	<p>前回の会議では、事務局が巡回バスに乗って利用者アンケートや利用状況の確認を行うようなことになっていたはずですが。</p>
事務局	<p>その件につきましては、立田・八開ルートについて委員のみなさまが検討する中でご協力をさせていただくつもりでいましたが、みなさまと認識が違っていたことについては申し訳ありません。</p> <p>今回、八開ルートについてアンケートをとということであれば、事務局のほうで巡回バスに乗って行う予定であります。</p> <p>前回の会議では立田地区についてのバス停の位置やルートの案があるので、委員で巡回バスに乗って調査を行うことを聞いていましたので、事務局のほうでも同行させていただきました。</p>
委員	<p>わたしの認識では、委員が乗車して調査を行うこととは別に事務局が巡回バスに乗ってアンケートを行うことになっていたと聞いていたと思いましたが。</p>

委員	<p>ルートごとに乗車して全体の意見を聞くということになっていたと思いますが、どういう方法でアンケートを取るのがいいかはわかりませんが、委員の中でも巡回バスに乗ったことがない人もいますので、自主的に委員でやることもいいと思います。</p>
委員	<p>今回の主な見直しは立田・八開ルートだということはわかりますし、佐屋・佐織ルートに関しては大幅な改善は必要ないとは思いますが、それでも意見を聞くということは大切なはずです。ぜひ、全体で意見を集約する方法を考えてほしい。それが大変だということであれば、広報やホームページを活用する方法も提案していたと思います。</p>
委員長	<p>とりあえず、要望に関してのルールを作っておくということは整理をしておきたいとは思いますが、この要望についての結論はどうしますか。</p>
事務局	<p>現時点での要望ということで、最終的には今後の改訂のときの参考ということでもよろしいかと思います。</p>
委員長	<p>では、このような要望の意見もありましたので、会議の際に参考としていくということでもよろしいですね。</p>
委員	<p>佐屋東ルートの時刻が遅れるという意見がありますが、朝の便は遅れることが多いので、運転手は乗車の際に15分くらい遅れることがあるということ伝えてるので別にいいと思います。海南病院についてもシャトル便であるため、遅れそうなきにはルートを変更することもあるが、それは理解してもらえと思っています。</p>
委員長	<p>バスというのは時刻前に出発することはないため、必ず遅れることしかありません。では、どこまで遅れとみるのかということになりますが、許容範囲の話なので10分までいいという人もいれば、15分までという人もいます。このような問題は非常に難しいですが、そういったことも含めてみなさんで考えていただけるとよいと思います。</p>
委員長	<p>3. その他</p> <p>それでは、「その他」に移りますが、さきほどからアンケートの話が出ていますが、これも大変難しい話で、何をどのように聞くのか。利用していない方に対しても、市民アンケートなどの方法により意見を聞くということであればお金もかかることになります。市民アンケートとなると事務局で判断していただく必要がありますが、利用者アンケートくらいであれば、委員で対応も可能であると思いますのでいかがでしょうか。</p>

事務局	<p>前回の話であった立田・八開ルートであれば、アンケートの内容を決めておく必要がありますが、事務局で利用者アンケートを取ることできます。</p> <p>バスを利用されない方に対しては、ホームページなどで意見を募集する方法で対応したいと思います。</p>
委員長	<p>乗車してアンケートを取るとなると、5問くらいの簡単な内容になりますし、乗車人数も制限がありますので2人くらいで行うことになると思います。</p>
委員	<p>事務局に実施してもらうのも大変だと思うので、アンケート内容さえ作成してもらえば、各地区のメンバーでそれぞれ地区のバスに乗り込んでやることも可能であると思うので、全ルートでアンケートをしたほうが良い。</p>
委員	<p>さきほど事務局からホームページにご意見を募集するページについて話があったが、そのページがあることを広報で周知するだけでもできないのか。</p>
委員	<p>アンケートの主目的を委員会で決めないといけない。網羅的にアンケートを取ると際限が無くなる。何のためにアンケートをやるのか明確化しないと非常に大変であるため、その辺りをこれから詰めていく必要があると思う。</p>
委員長	<p>何を目的に意見を聞くのか、その辺り含めてまずは案を作成して委員で整理していく必要があります。やり方はいろいろあると思うが、ホームページで項目を絞って意見を募集したり、現在利用されている方には利用目的や利用方法、改善点などを聞くことになると思うが、アンケートの難しいところは意見を聞いておいて出来ないことであった場合、何のために聞いたのかということになってしまいかねない。だから利用している人、利用していない人の両方に対して何を聞いて、どのような目的でどうするかたちで意見を聞くのかということ整理しておく必要があるというわけです。</p> <p>事務局のほうで案を作成してもらうことは可能でしょうか。</p>
事務局	<p>アンケートについては、第1回から委員のみなさまにいろいろなお意見をいただきました。こちらとしましてもある程度のアンケートの案は持っておりましたが、何を目的に行うのかということが決まっていなかったため、議題に上げていなかった部分もありました。ただ、この会議で目的を絞ってアンケートを取ることになれば、事務局としましても積極的にご協力させていただきたいと思います。</p>
委員長	<p>利用者アンケートということであれば、それほど難しくないと思います。</p>
事務局	<p>はい。しかし、市民アンケートというような全体的なものについては、現在のところ考えておりません。</p>

委員長	<p>そういうことで、利用者の方にこれは聞いておきたいというようなことがあれば、また事務局へ連絡しておいてください。</p> <p>利用者以外からの意見については、すでに仕組みがあるようなのでその中に組み込んでいくということによいでしょうか。</p>
委員	<p>ご意見箱があるということなので、それ常に活用することをしてほしい。</p> <p>今回の検討委員会が終わったら、次の見直しまで何もないということではいけないし、検討委員会も継続して行ってほしい。恒常的に意見が集約できるようなシステムにして行ってほしい。</p>
委員長	<p>やはりデータを集計したり、意見を集約するなどして継続していくということは大事なことで、少なくとも年に数回は集まって検討を継続していくというのはすごく大切なことだと思います。</p> <p>それでは、利用者へのアンケートについては委員のほうで実施可能ということで、事務局のほうでアンケート案を作成してもらいます。</p>
事務局	<p>さきほど検討委員会についての話がありましたが、検討委員会自体は毎年開催しており、その中で検証は行っております。</p>
委員	<p>今回の議題にあったように、運行ルートについてのこともありますので、今度からぜひ運行事業者にも会議に参加していただき、情報を共有していくようなことを事務局からお願いしてほしい。</p> <p>もう一つは、スケジュール間が非常に大切なので、次回の改訂に向けて来年度4月にアンケートを行うと見直しまでの期間が短くなるので、早く意見を集約するようなスケジュールで実施して欲しい。</p>
委員長	<p>スケジュールについては事務局にお願いするとして、運行事業者に出席してもらうことは可能ですか。</p>
事務局	<p>運行事業者の意見も聞きたいということでしたので、一度業者に確認をとってみます。</p>
委員長	<p>これをもちまして検討委員会を終了させていただきます。</p>